



エネちゃん



エネちゃん



経済産業省  
北海道経済産業局  
Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry

白熱電球（消費電力54W）をLED電球（同9.4W）に替えると、約83%の省エネにつながります！！電気料金に換算すると年間で約2,400円の節約になります。

※現在販売されている省エネ機器の性能等については、「省エネ性能カタログ2017年冬版」をご覧ください。

[http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/general/more/pdf/winter2017.pdf](http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/more/pdf/winter2017.pdf)



## 地球温暖化防止に役立つ「J-クレジット制度」を紹介します

### J-クレジット特集

地球温暖化とは、温室効果ガス（CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）、フロンなど）が増えすぎて、気温や海水の温度が上昇する現象のことです。温室効果ガスは火力発電所や工場をはじめ、自動車や家庭からも排出されます。この温室効果ガスの排出を減らすための国際的枠組みが「パリ協定」であり、日本は2030年度に2013年度比で、26%減らすことを目標としています。J-クレジット制度は、地球温暖化防止に役立つ施策の一つに位置づけられています。

### ① J-クレジット制度のしくみと参加のメリット

J-クレジット制度とは、会社などが省エネ設備などの導入によって、排出される温室効果ガスを減らした場合、その減らした分を国がクレジットとして認める制度です。

このクレジットを売買することで、資金の循環が生まれ、省エネ設備の導入促進や地域活性化等に活かすことができます。

#### ◆クレジットを「売る」

省エネ設備の導入などによるランニングコストの低減効果のほか、クレジットの売却益による設備投資分の回収、企業や自治体が地球温暖化対策に積極的に貢献している姿勢を示すことができる等のメリットがあります。

#### ◆クレジットを「買う」

電気などエネルギーをたくさん使ってCO<sub>2</sub>を排出するイベントも、主催者がクレジットを購入しカーボン・オフセット（※）することで、環境にやさしいイベントになります。

また、環境保全に積極的に貢献したい会社が、自社の商品やサービスをカーボン・オフセットすることで、その会社や商品・サービスのイメージアップにもつながります。



※カーボン・オフセットとは、自ら排出し減らすことができないCO<sub>2</sub>を、「クレジット」の購入などにより埋め合わせ（オフセット）すること。

### ② J-クレジットの活用事例

- ◆地域コミュニティFM局から排出されるCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセット（ニセコ町）  
平成29年6月5日、「環境モデル都市ニセコ町」では、道内企業3社からJ-クレジットの寄付を受け、地域コミュニティFM局「ラジオニセコ」から排出される年間12トンのCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセットする「全国初」の取組を行いました。

同日、同町から寄付企業に対し、感謝状の贈呈を行うとともに、ラジオニセコで記念放送を行いました。

- ◆「第46回かなやま湖湖水まつり」から排出されるCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセット（南富良野町）

平成29年7月29日（土）～30日（日）に開催された本イベントから排出されたCO<sub>2</sub>（会場の電気使用量など）2トン北海道内産のJ-クレジットを活用しカーボン・オフセットしました。



「ラジオニセコ」記念放送の様子



第46回かなやま湖湖水まつり

## 北海道教育大学附属札幌小学校の児童が道内初の経済産業大臣賞を受賞！！ ～ 第3回「わたしたちのくらしとエネルギー」かべ新聞コンテスト～

経済産業省資源エネルギー庁は、エネルギー教育推進事業の一環として小学生を対象に「わたしたちのくらしとエネルギー」かべ新聞コンテストを実施しました。

今年度は全国から720点の作品応募があり、厳正な審査の結果、北海道から最優秀の経済産業大臣賞をはじめ、審査委員長特別賞、優秀賞などが選ばれました。

### 【かべ新聞コンテストの概要】

小学生のエネルギー問題に対する関心と当事者意識を喚起するとともに、学校や家庭・地域における実践行動を促すことを目的とし、「わたしたちのくらしとエネルギー」をテーマとして小学校の4年生～6年生の2人以上のグループを対象にかべ新聞コンテストを実施し、優秀な作品に対して表彰を行います。

### 【北海道内の受賞状況】

#### ◆経済産業大臣賞

北海道教育大学附属札幌小学校「私たちの身近なエネルギー-新聞」（6年生）

#### ◆審査委員長特別賞

北海道教育大学附属札幌小学校「ふじの子新聞 エネルギー編～北海道の自然を有効に～」(6年生)

#### ◆優秀賞

札幌市立緑丘小学校 6新聞

#### ◆優秀学校賞

札幌市立緑丘小学校



経済産業大臣賞と審査委員長特別賞を受賞した北海道教育大学附属札幌小学校の児童たちから、「日本はエネルギー自給率が低いから、人間の動きを利用して発電する技術があれば良いと思う。最優秀賞を取れると思っていたので嬉しかった。」「取材内容をまとめるのが大変だったけど、身近にある雪をエネルギーとして利用できることを知ることができて良かった。」と喜びの声がありました。



3月4日（日）、日本科学未来館（東京都）で行われた表彰式の様子

※コンテスト全体の実施結果や受賞作品一覧等については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/20180131/index.htm>

＜総合エネルギー広報室＞

## 「省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業」補助金をご活用ください【平成29年度補正予算】

既存の設備を、省エネ性の高い設備（省エネ型設備）とエネルギー使用量等を計測・蓄積する装置（見える化装置）に更新する費用を支援します。

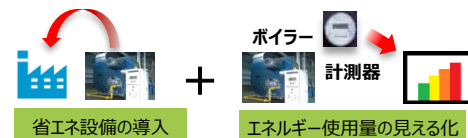
- ◆公募期間：平成30年3月20日（火）～4月20日（金）
- ◆補助対象：「省エネ型設備」と「見える化装置」に係る設備費
- ◆補助率：1/3以内

◆補助金限度額：上限額は3,000万円/事業、下限額は30万円/事業  
※全ての補助対象事業者は、導入後、省エネ専門家による診断を受診していただき、診断結果を今後の省エネ取組の参考としてご活用いただけます。

（診断に係る費用負担はありません。）

※詳細は、以下のURLをご覧ください。

<https://sii.or.jp/kakumeisokushin29r/offering.html>



＜エネルギー対策課＞

## 「電気・ガス小売ビジネスセミナー」を開催します

北海道経済産業局では、電気・ガス小売ビジネスを計画している事業者を対象に、政府が取り組むエネルギー制度改革に関する動向や、道内事業者による新たなエネルギービジネスの展開事例を紹介する「電気・ガス小売ビジネスセミナー」を開催します。

【日時】平成30年3月20日（火）13：30～15：30

【場所】TKP札幌駅カンファレンスセンター（札幌市北区北7条西2丁目）  
2階カンファレンスルーム2D（定員50名、入場無料）

【対象】エネルギービジネスに関心のある企業、団体、自治体

【プログラム】

- ◆エネルギー制度改革の進捗状況 北海道経済産業局
- ◆事業者によるプレゼン  
（株）いちたかガスワン、北海道エアウォーター（株）、北海道ガス（株）、北海道電力（株）
- ◆電気・ガス小売事業を始める際の留意点 北海道経済産業局

※詳細は、以下のURLをご覧ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpp/20180227/index.htm>

＜資源エネルギー環境課＞

## 編集後記

東京で行われたかべ新聞コンテストの表彰式に出席しました。東京は暖かく一足先に春を感じてきました。表彰式前は少し緊張した面持ちの子供たちでしたが、賞状を受け取ると、自分たちの頑張りを受けてもらえてとても嬉しそうでした。色々な可能性を秘めている子供たちの将来が楽しみです。（有）

経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室  
TEL:011-709-2311 内線2634 E-mail: [hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp](mailto:hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp)